

年間に手術を手がけた癌患者は220名、癌を告知し得たのは1割の22名で、その詳細を記したのが前記の小著である。

癌の告知に踏み切っている医者はまだ少数派だったし、世の中の趨勢も告知はタブーに傾いていたから、この本は結構関心を呼び、数年で何度も版を重ねた。印税なるものを手にしたのもこれが初めてである。

坂本さんは半年程前に大腸癌の手術を受けていた。大腸は起始部の盲腸

### がんとの



台湾の羅文堂院長夫妻(右側2人)の私邸で(昭和61年)



手術を手伝った台湾の羅東博愛医院。地上12階、地下2階の偉容を誇る

手遅れだされた。県内の他の病院の医者にかけが、あけて合っても同様の回答が返って来た。みたら肝臓(人工肝門)さえ取ればと訴える。いた。よ「思い余って、ご相談に及びました。た」と電話をかけて寄越したのは息子年とみなさんだった。

(阿那賀診療所・伊加利診療所 院長 大鐘稔彦)

24平方メートル、課税標準額は3,867円。建物4棟で、床面積9.6平方メートル、当座、普通預金総額は506円、4年前の初借入金は540円、4年前より

# 島内の禁煙店 100店超え

県洲本健康福祉事務所(洲本市)が飲食店などを対象に進めている禁煙キャンペーン「あわじ島おいしい空気でおもてなし店」の登録店舗が、1000店を超えた。禁煙への理解が深まったことなどが、背景にあるようだ。

## 理解深まり順調な伸び

キャンペーンは受動喫煙による健康被害を防ぐため平成21年度にスタート。淡路島独自の取り組みで、参加店は建物内を全面禁煙とし、屋外に灰皿を設けるなどして対応している。同事務所によると、21年度の26店舗から毎年度10〜22店舗ずつ増え、7月に淡路市多賀の「創作料理 鼓や」など3店が申請して店舗数は101店になった。背景には禁煙を求める利用者の増加があるようだ。

幕し、多くの観光客が訪れる「淡路花博2015花みどりフェア」を前に全面禁

煙を決めた。

参加店舗は淡路県民局のホームページでも紹介。同事務所は「数字の並びが良いので今年度の目標は123店。多くの飲食店に登録してもらい、きれいな空気です食事を楽しめる場所を増やしていきたい」としている。

## 実質収支9期連続黒字

### 淡路市25年度決算 市長「見通しついた」

淡路市は、平成25年度の決算を発表した。一般会計の歳入は327億8600万円、歳出は324億2千万円で、翌年に繰り越すべき財源を差し引いた「実質収支」は2億900万円の9期連続の黒字となった。門康彦市長は「今後の市政を運営するうえで見通しがついた」としたが、阪神淡路大震災の影響が影を落としている面もある。

### 旧仁井小学校跡地 利用事業者を募集

淡路市は平成22年3月で廃校となった同市仁井の旧仁井小学校跡地を利用する事業者を募集している。地域活性化や雇用創出、交流拠点につながることを条件で、利用方法の提案を受けて審査するプロポーザル方式で選定する。土地約1560平方メートル、2階建て校舎2棟などを合わせた最低売

行に県知事の許する基準値( ) っている。将性のある負債( ) 占める割合を( ) 担比率は2( ) 前年度比25( ) 善傾向は( ) 自治体で下位( ) 変わらない。 わせた最低売 2万円。耐震 修費は購入す 担となる。24 集し、2社の が、審査の結 至らなかった 応募資格は 円以上の法人 は9月1日ま 提出期限は9 月中旬に事業 定。問い合わせ 部管財課( ) 4・2540



7月から屋内全面禁煙となった「創作料理 鼓や」。店主・原田兼次さん(左から2人目)は「社会全体が禁煙に向かっていると肌で感じた」と話す—淡路市多賀